

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 2 月 2 日 (2012.2.2)

【公開番号】特開 2010-147817 (P2010-147817A)

【公開日】平成 22 年 7 月 1 日 (2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報 2010-026

【出願番号】特願 2008-322958 (P2008-322958)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/238 (2006.01)

H 0 4 N 5/235 (2006.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

G 0 3 B 7/28 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/238 Z

H 0 4 N 5/235

G 0 3 B 15/00 Q

G 0 3 B 7/28

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 8 日 (2011.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像手段と、

前記撮像手段により撮像された画像から人物の顔領域を検出する顔検出手段と、

前記画像の全領域と、前記顔検出手段により検出された顔領域とから測光値を取得する測光手段と、

前記画像の全領域から取得された測光値に対する補正量を、前記顔領域から取得した測光値に応じて算出する算出手段と、

前記画像の全領域から取得された測光値を前記補正量で補正した測光値に基づいて露出制御を行う露出制御手段と、

を備え、

前記顔領域の測光値の変化に対する前記補正量の応答性を示す第 1 の時定数を、前記画像の全領域の測光値の変化に対する前記露出制御の結果の応答性を示す第 2 の時定数よりも大きくすることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記算出手段が、前記顔領域の目標測光値と当該顔領域から取得した測光値との差分値から前記補正量を算出し、

前記第 1 の時定数が、前記差分値の変化に対する前記補正量の応答性を示すことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記第 2 の時定数が、前記顔領域の検出の有無によって変化しないことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

撮像手段を有する撮像装置の制御方法であって、

前記撮像装置の顔検出手段が、前記撮像手段により撮像された画像から人物の顔領域を検出する顔検出工程と、

前記撮像装置の測光手段が、前記画像の全領域と、前記顔検出工程で検出された顔領域とから測光値を取得する測光工程と、

前記撮像装置の算出手段が、前記画像の全領域から取得された測光値に対する補正量を、前記顔領域から取得した測光値に応じて算出する算出工程と、

前記撮像装置の露出制御手段が、前記画像の全領域から取得された測光値を前記補正量で補正した測光値に基づいて露出制御を行う露出制御工程と、
を含み、

前記顔領域の測光値の変化に対する前記補正量の応答性を示す第 1 の時定数を、前記画像の全領域の測光値の変化に対する前記露出制御の結果の応答性を示す第 2 の時定数よりも大きくすることを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の撮像装置の制御方法の各工程をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、本発明の撮像装置は、撮像手段と、前記撮像手段により撮像された画像から人物の顔領域を検出する顔検出手段と、前記画像の全領域と、前記顔検出手段により検出された顔領域とから測光値を取得する測光手段と、前記画像の全領域から取得された測光値に対する補正量を、前記顔領域から取得した測光値に応じて算出する算出手段と、前記画像の全領域から取得された測光値を前記補正量で補正した測光値に基づいて露出制御を行う露出制御手段と、を備え、前記顔領域の測光値の変化に対する前記補正量の応答性を示す第 1 の時定数を、前記画像の全領域の測光値の変化に対する前記露出制御の結果の応答性を示す第 2 の時定数よりも大きくすることを特徴とする。